

平成25年度 医療放射線防護連絡協議会年次大会（案）
第24回「高橋信次記念講演・古賀佑彦記念シンポジウム」の開催
主 催：医療放射線防護連絡協議会

当協議会の年次大会は、高橋信次先生の名前と古賀佑彦先生の名前を冠に、毎年12月の第2週の日曜日に「高橋信次記念講演・古賀佑彦記念シンポジウム」として開催致しております。

今回は「放射線被ばくと医療安全*原発事故の課題から*」をテーマに開催します。

高橋信次記念講演は、長瀧重信先生から、「医療・放射線影響から見た原子力災害」の講演を頂きます。また、午後の「古賀佑彦記念シンポジウム」では、「放射線被ばくとリスクコミュニケーション」をテーマで行い、総合討論においては、今回の「原発事故の課題を医療放射線安全に生かすには」について参加者の皆様と検討します。

医療分野の放射線安全に関わる多くの方々のご参加をお願いします。

日 時：平成25年12月13日（金） 10時～16時30分

場 所：国際交流研究会館 国際会議場

東京都中央区築地5-1-1（国立がんセンター内）

（プログラム）10:00-

開催の挨拶：佐々木康人（医療放射線防護連絡協議会会長）

総合進行：菊地 透（当協議会総務理事）

1. 教育講演 10:10-11:00（講演時間40分）

座 長：三浦 雅彦（東京医科歯科大学）

演 題：医療現場で活用できる放射線影響*低線量放射線を中心に*

講演者：鈴木 元（国際福祉医療大学）

2. 高橋信次記念講演 11:00-12:00（講演時間50分）

座 長：佐々木康人（当協議会会長）

演 題：医療・放射線影響から見た原子力災害

講演者：長瀧 重信（放射線影響協会）

3. 古賀佑彦記念シンポジウム 13:15-14:45（講演時間：各20分）

テーマ：放射線被ばくとリスクコミュニケーション

座 長：菊地 透（自治医科大学）

1) 福島第一原発事故に伴う住民の放射線被ばくの現状

桐生 康生（環境省環境保健部 放射線健康管理担当参事官）

2) 放射線被ばくに伴う健康調査*甲状腺スクリーニングを中心に*

星 北斗（星総合病院）

3) 「リスクコミュニケーションの向こう側：放射線防護からはじまる健康文化の形成」

大森 純子（聖路加看護大学）

4) 医療被ばくとリスクコミュニケーション：大野 和子（京都医療科学大学）

4. 総合討論：15:00-16:30

テーマ：原発事故の課題を医療放射線安全に生かすには

指定発言：中村 仁信（彩都友誼会病院）

「リスクコミュニケーションが上手くいかない理由」

◆参加費：5,000円（懇親会：6,000円）

◆申込方法：FAX. またはEメールでお申し込みください。

◆申込先：医療放射線防護連絡協議会

〒113-8941 東京都文京区本駒込2-28-45 日本アイソトープ協会内

Fax：(03)5978-6434 電話：(03)5978-6433（月・水・金）

E-mail：jarpm@chive.ocn.ne.jp